

# 「逃げよう、守ろう、その命」

～火災から命を守る6つのSTEP【自宅編】～



毎年、住宅火災で多くの方が亡くなっています。  
火災から命を守るためには、**早めの避難**が非常に重要です。  
過去10年間の火災による死者の発生経過は**逃げ遅れによるものが5割**  
を超えており、負傷者の発生原因は、**煙を吸ったこと、火炎にあおられたこと及び着衣着火**によるものなどが多くを占めています。



もし**火事**になったらどうしますか？

日頃の備え

住宅用火災警報器が鳴動



5分以内

煙等で玄関から出られないこともあることから**2方向以上**の避難経路を考えておくこと。

窓・ベランダ等

STEP1

まずは、火元の確認

火災確認

避難可能時間はほんのわずか  
早期の避難を第一に！

できない

STEP2

消火できるか判断

できない

できる

STEP4

避難

STEP3

周りに知らせながら消火器等で初期消火

できない

できた

できない

できる

STEP5

窓、ベランダ等、外気に触れる場所への避難  
(救助を求める)

STEP6

119番に通報する

☆STEPごとの対応は裏面に・・・

## STEP 1

まずは、火元の確認 ※煙により、火元が確認できない場合はSTEP4・5へ

- どこの住宅用火災警報器が鳴ったか
- 何がどのくらい燃えているのか



## STEP 2

消火できるか判断

- 消火できる
  - 消火できない
- 火元が確認できる
  - 炎が天井に達している
  - 炎が天井に達していない
  - 煙や熱気で火元に近づけない



### ※マンションのベランダからの避難

マンションの玄関から逃げるのが難しいときはベランダから避難はしごを使って逃げるようにしましょう。



※出典 一般財団法人  
日本防火・危機管理促進協会  
「家族を考えよう」

## STEP 3

周りに知らせながら初期消火!

- 「火事だー」と大声でさけぶ
  - 安全な位置 (3m~5m) まで消火器を運ぶ
  - 火元を狙って、放射する
  - 消えなかったら、すぐに逃げる
- ※ 服に火がついたら、倒れて左右に転がり消火する

## STEP 4・5

避難

- タオルやハンカチ等で口と鼻をおおい、姿勢を低くして逃げる
- 火元から、離れるように逃げる
- 煙により逃げられない場合は、窓・ベランダ等、外気に触れる場所へ逃げる (救助を求める)
- 絶対に戻らない



## STEP 6

119番に通報する

- 通報はあわてず聞かれたことを正確に答える
- 携帯電話の場合、現在地をはっきりと伝える



こんなものがあります!

## 火災から命を守る機器

### 住宅用火災警報器

警報音や音声で火災の発生を知らせて、被害の拡大を防ぎます。



### 住宅用消火器

火が小さいうちの消火に役立ちます。



### 防炎品

火がつきにくい素材で、その製品から火災が燃え広がるのを防ぎます。



### 安全調理器具

油の過熱防止装置、立ち消え安全装置などのついた機器を使いましょう。



# 「逃げよう、守ろう、その命」

～火災から命を守る4つのSTEP【外出編】～



毎年、火災で多くの方が亡くなっています。  
火災から命を守るためには、**早めの避難**が非常に重要です。  
過去10年間の火災による死者の発生経過は**逃げ遅れによるものが5割**  
を超えており、負傷者の発生原因は、**煙を吸ったこと、火炎にあおられたこと及び着衣着火**によるものなどが多くを占めています。

## 外出先で火災にあったらどうしますか？

### STEP1

外出先に着いたら  
まず、2方向以上の  
避難経路を確認

### STEP2

従業員の指示や  
館内放送に従う

火災発生

### STEP3

避難開始

従業員の誘導や誘導灯の  
表示方向に避難

従業員の指示がない時は  
誘導灯の表示方向に避難開始

出口を  
さがせ！

### STEP4

避難の  
ポイント

煙があるときは、低い姿勢で避難

エレベーターは使用せずに、階段で下階へ

階段が使用出来ない時は、バルコニー等の  
外気に触れる場所で救助を待つ

早めに  
避難！

☆STEPごとの対応は裏面に・・・

# STEPごとの対応

## STEP1 外出先についたら



- 火災に遭遇したときの避難を考える(2方向以上)
- 避難口の確認

誘導灯確認!!

## STEP2 従業員等の指示に従う

- 館内放送に従う
- 持ち物に気をとられず、すぐ避難



## STEP3 避難開始

- 従業員の誘導に従う
- 誘導灯の表示を頼りに避難



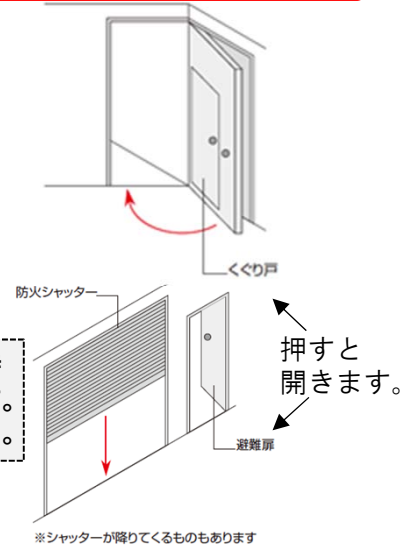
## STEP4 避難のポイント

- タオル等を口と鼻にあてて煙を吸わない
- 煙があるときは、低い姿勢で避難
- エレベーターは使わず、階段で避難
- 階段が使えない場合は、窓やバルコニーに設置されている避難器具での避難も考慮
- 地上に降りるのが困難なときは、燃えている区画の外まで避難



大規模なデパート等には、一定の区画(面積)ごとに火災発生時に自動的に閉まり、火災の拡大を防ぐ防火戸が設置されています。防火戸が閉まった際には、くぐり戸などを抜けて避難しましょう。

### 防火戸の構造(例)



知っていますか?

## 火災から命を守る設備

### 誘導灯

誘導灯とは、避難を容易にするために避難口や避難方向を示すための照明設備です。

●白地に緑矢印の表示板は通路誘導灯

●緑地に絵文字の表示板は避難口誘導灯



矢印が避難口の方向です



避難口を示します